

春季年会は、化学に関する学術の進歩普及・産業の発展および生活の向上を狙いとして、およそ化学という言葉が包括するあらゆる学問領域や分野からの研究者が一堂に会して日頃の研究成果を発表する場であり、その討論を通じて学術交流を奨励・促進する場です。



第105春季年会は、関西大学千里山キャンパスで開催されます。春季年会は3年ごとに関西で開催されていますが、2022年の前回はコロナ禍でオンライン開催となったために、関西での開催は2019年の甲南大学岡本キャンパス以来6年ぶりです。最近オンライン開催にシフトする学会も目につきますが、日本化学会は対面開催を重視しています。学生や若手研究者にとって、対面での研究交流は貴重な経験となると思います。口頭発表・ポスター発表はもちろん、懇親会・ケムステイブニングミキサーなどの研究交流の場を活用していただければと思います。皆様の関西滞在が充実したものとなるよう、実行委員一同、心を込めて準備し、お待ちしております。

(実行委員長 松田建児)

主催 公益社団法人 日本化学会

共催 関西大学

会期 2025年3月26日(水)～29日(土)

会場 関西大学 千里山キャンパス (大阪府吹田市山手町3丁目3番35号)

実行委員長 松田建児 (京都大学大学院工学研究科・教授)

内容 アカデミックプログラム

受賞講演, 外国人の特別講演, 若い世代の特別講演,
口頭A講演, 口頭B講演, ポスター

シンポジウム

イノベーション共創プログラム, 中長期テーマシン
ポジウム, アジア国際シンポジウム, 特別企画

併催シンポジウム・行事

会長講演, 表彰式, コラボレーション企画, 本会委
員会主催シンポジウム (市民公開講座等)

講演予稿集発行日 2025年3月12日

問合せ先 日本化学会 企画部 年会係

URL: <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/csj105th>

■講演予稿集の発行形式はWebのみです。会期が終了してから3ヵ月経過した後、年会参加者以外による予稿集の閲覧が可能となります。

参加登録

[注意事項]

・講演申込者・講演者(登壇者)・連名者(共著者)の如何にかかわらず本年会に参加される方は、全員参加登録が必要です。※一部招待者を除きます。

1 登録期間

(直前申込) 2025年3月19日～会期最終日

2 登録方法

春季年会ウェブサイト上の参加登録フォームよりお申し込みの上、期限内に参加登録費をお支払い下さい。

3 参加登録費

参加登録費は以下の表のとおりです。

参加区分		参加登録費 (直前申込)	課税区分
会員	一般*1	18,000円	不課税 ※税の適用の対象外
	シニア/教育*2	12,000円	
	学生*3	6,000円	
	中高生(聴講のみ)	無料。会場にて受付	
非会員	非会員	32,000円	課税 ※左記の金額は税込
	学生	6,000円	

*1 個人正会員および法人正会員に登録している機関に所属の方。

*2 シニア会員, 永年会員, 終身会員, 教育会員の方。

*3 学生会員, 教育学生会員, ジュニア会員, 中高生会員(登壇)の方。

4 支払い方法

支払い方法はクレジットカード払いのみとなります。

- 支払い完了した後、参加登録フォーム内にて領収書を発行します。領収書の発行はPDF形式のみです。
- 請求書は、参加登録および決済手続き開始後に、参加登録フォーム内にて発行します。PDF形式のみです。書式の変更等には対応いたしかねます。公費払い・校費払いの場合も同様に書式変更には対応できません。
- 郵便振替でのご送金は承っておりません。

5 参加証

参加証の事前送付はいたしません。参加者は自身にて参加登録サイトより参加証をダウンロード・印刷の上、会場にお持ち下さい。ダウンロードは3月12日から可能になります。参加証ホルダーは会場にて配布します。

懇親会

1 日時

2025年3月27日(木)17:30開宴(17:10開場)

2 会場

関西大学 千里山キャンパス 凜風館2階 食堂「ディノア」

3 懇親会費

(直前申込: 2025年3月19日～)

一般6,000円, 学生2,000円

4 申込方法

下記よりお申込み下さい。

URL <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/csj105th/content/banquet>

各種企画一覧

本年会での行事、企画は下表の通りです。プログラム等の詳細情報は春季年会ウェブサイトにてご確認ください。

分類	企画名	3月26日(水)			3月27日(木)			3月28日(金)			3月29日(土)	
		午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後
	会長講演・表彰式					15:00-						
	市民公開講座 自然と対話が紡ぐ化学の未来											●
	目指せ未来の科学者 小学生向け実験教室										●	●
	なぜナニ化学クイズショー										●	●
	付設展示会	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	第105 春季年会 懇親会						17:30-					
	Chem-Station イブニングミキサー			17:30-								
▼ 以下は「シンポジウム企画」です。春季年会の参加登録が必要です。												
イノベーション共創プログラム(CoIP)	研究開発を変革するラボオートメーション技術の最前線				●	●						
	PCP/MOF から COF そして HOF への新展開							●				
	AI×自動計算×自動実験による化学研究のデジタル革新	●	●	●								
	マテリアルズ・インフォマティクスの実践的応用：多元素化による未踏機能の創出										●	●
	実用化に近づく次世代太陽電池とさらなる基盤技術開発	●	●									
	カーボンニュートラル実現のためのカーボンリサイクル技術				●	●						
	電解液の革新に基づく新電池開発							●	●			
	熱エネルギー工学の最前線とカーボンニュートラルへの展望										●	●
	バイオ医薬品の最前線を支えるスマートケミストリー	●	●	●								
	デジタルヘルスケアの最前線							●				
	未来の医療を支えるバイオベンチャーの新たな戦略								●	●		
	フレキシブル分子性結晶材料ソフトクリスタルが切り拓く革新的技術開発								●	●		
中長期テーマシンポジウム	持続可能社会を創出する高分子科学				●	●						
	マテリアルズ・インフォマティクスが拓く無機機能材料					●						
	シーケンシャル物質化学：最先端分析法によるブレイクスルー								●			
	生命科学と化学の交差領域を探る 2	●										
	流れを制する分子機能デザイン		●									
	カーボンニュートラルを志向した電解技術および電極触媒開発の最前線								●			
アジア国際シンポジウム	次世代分子システム化学のフロンティア協奏的機能発現の素過程的理解		●									
	International Symposium on Molecular Science—Physical Chemistry / Theoretical Chemistry, Chemoinformatics, Computational Chemistry—Cosponsored by Japan Society for Molecular Science—		●	●								
	Asian International Symposium—Photochemistry—										●	
	Asian International Symposium—Coordination Chemistry, Organo-metallic Chemistry—								●			
	Asian International Symposium—Electrochemistry—							●				
	Asian International Symposium—Natural Products Chemistry, Chemical Biology / Biofunctional Chemistry and Biotechnology / Medicinal Chemistry—				●	●						

分類	企画名	3月26日(水)			3月27日(木)			3月28日(金)			3月29日(土)	
		午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後
特別企画	ルミネッセンス化学アンサンプル：多様なトライボ、ピエゾ、およびメカノルミネッセンス材料の最前線											●
	生命化学研究：若手研究者へつなぐバトン										●	
	エキシトン操作の新展開と展望							●				
	大津会議 15 周年特別講演会 ～15 年における成長の軌跡～							●				
	機械と分子を橋かけするトランススケール科学							●				
	二次元材料の新展開：2.5 次元物質科学への誘い				●							
	化学者のための放射光ことはじめ—微小単結晶・粉末構造解析の基礎と応用				●							
	低次元ナノ構造の光化学		●									
	神経型インマテリアル演算の化学								●			
▼ 以下は『併催シンポジウム』です。年会の参加登録は不要でどなたでもご参加いただけます。												
シヨ ン 企 画	コ ラ ボ レ ー ション企画								●			
	(JST) さきがけ「自在配列」領域 公開シンポジウム					●						
	全固体電池のプロセスサイエンス 第4回シンポジウム		●									
シン ポ ジ ウ ム	本 会 委 員 会 主 催											
	第5回日本化学会-台湾化学会 合同シンポジウム 次世代型革新触媒による持続可能な化学合成				●	●						
	第31回化学教育フォーラム：生成AIと化学教育の未来											●
	ケミカルレコード・レクチャー 2025								●			
	論説フォーラム「化学キャリア革命：就職活動の新常識」 女性化学者の未来と挑戦							●				●

主催 公益社団法人 日本化学会

共催 関西大学

日本化学会 第105春季年会(2025) 付設展示会

参加費
無料

最先端技術や
新製品を
ご紹介!!

化学研究のために不可欠な試験・分析機器、情報処理システム、
試薬、書籍などの最新情報が集まっています。

会期 2025年 3/26 水 » 28 金

10:00 ~ 17:15 ※年会は3/29日まで

会場 関西大学 千里山キャンパス

新関西大学会館北棟1階/第4学舎4号館地下1階

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/cs105th>



出展社名一覧

(2025年1月17日時点)

株式会社アイシス	公益財団法人高輝度光科学研究センター	株式会社テクノシグマ	富士シリシア化学株式会社
旭化成株式会社	コンフレックス株式会社	データケミカル株式会社	富士フイルム和光純薬株式会社
株式会社旭製作所	公益財団法人相模中央化学研究所	株式会社東京化学同人	ブルカー・ジャパン株式会社
株式会社朝日ラボ交易	三共出版株式会社	東京化成工業株式会社	フルテック株式会社
アジレント・テクノロジー株式会社	CEM Japan 株式会社	東芝インフラシステムズ株式会社	ブロンコスト・ジャパン株式会社
アドビオン・インターナショナル・サイエンティフィック株式会社	CAS	中山商事株式会社	株式会社堀場製作所
株式会社イーシーフロンティア	株式会社シゲミ	公益社団法人日本化学会	POLYMERIZE 合同会社
株式会社エイエルエステクノロジー	シーシーエス株式会社	公益社団法人日本技術士会化学部会	マックエンジニアリング株式会社
ACS アメリカ化学会	株式会社システムハウス・サンライズ	株式会社日本サイエンスコア	株式会社 Material Doors
株式会社エマージングテクノロジーズ	柴田科学株式会社	日本電子株式会社	丸善出版株式会社
MSH システムズ株式会社	ジャスコインタナショナル株式会社	日本ビュッヒ株式会社	メトラー・トレード株式会社
株式会社エリカオプティカル	ジャパンハイテック株式会社	日本分光株式会社	メルク株式会社
エンドレスハウザー・ジャパン株式会社	Springer Nature	日本分析工業株式会社	株式会社モルシス
オプトシリウス株式会社	株式会社シンキー	株式会社バイオクロマト	山善株式会社
株式会社化学工業日報社	株式会社セルシステム	バイオタージ・ジャパン株式会社	株式会社 UNICO
一般社団法人化学情報協会	株式会社ダイセル	BioPhenolics 株式会社	株式会社ユニソク
株式会社化学同人	WDB株式会社エウレカ社	ハインソル株式会社	株式会社ライトストーン
関東化学株式会社	筑波大学 JV-Campus	株式会社バキューブランド・サイエンティフィック・ジャパン	株式会社リガク
株式会社 Quemix	株式会社DFC	浜松トニクス株式会社	Royal Society of Chemistry
有限会社桐山製作所	株式会社デジタルデータマネジメント	ハリオサイエンス株式会社	
株式会社クロスアビリティ	テクノアルファ株式会社	株式会社ビートセンシング	

(50音順)